



みんなで作る? 京都 ガイドブック

京都のまちをつくっているのは、誰でしょう？
京都のまちは、京都に関わる様々な人たちの
まちを良くしようとする活動「市民参加」でできています。
この京都のまちの絵のなかには、
いくつ「市民参加」の活動が描かれているでしょうか？
さあ、一緒に探しにいこう！



近くに困っている人いない？
もしかしたら
力になれるかも？

京都は昔から、
地域をよくするために
自主的に動く人たちが
たくさんいます。

役所の人だけでなく、
地域の人が一暮らしのお年寄りや、
困っている人をサポート
している場合も。

家の掃除のとき、
一步門の外に
踏み出してみよう。

門掃きは、京都の誇る
まちづくり文化。
家の門の前から少し周りまで
掃除する思いやりの文化です。

まちをきれいにしながら、
近所の人とも
コミュニケーション。

こども達も
張り切って
まちを見回り。
防災に取り組む
大学生の姿も…

あなただったら
どんなテーマに
興味がある？

より良いまちにするために、
京都市に意見する制度
「パブリック・コメント」
があります。

難しい課題や政策については、
京都市の職員が説明に来て、
質問に答えてくれます。

対話型の
パブリック・コメントは、
中学校や高校、大学の授業でも
実施されています。

京都市と組んで
ビジネスを拡大しながら
社会貢献できるかも？

行政の抱えている課題と
民間企業の強みをマッチングして、
社会課題解決に取り組んでいます。

京都のまちを気を付けて見てみると、
街角のバケツや火越要慎のお札、
市民のまちを守る知恵があちこちに。

古いまち並みを
守るため、
大事な地域の
火の用心。

住みたいまちの
未来像や課題は、
みんなで共有
することが重要。

あなたのまちでも
やっているかも？
みんなで作る
京都 HP をチェック！

市役所や区役所では、
様々なまちの課題や
未来について
対話の場があります。

色々な年齢の方、お勤めの方、
学生、誰でも参加できます。

アンケートに答えると
プレゼントがある場合も？

参加しやすい意見を
伝える手段、アンケート。
散歩のついでに、
ネットサーフィンのついでに。

あなたの知り合いの
京都市職員と
まちのこと話してみる？

仕事を離れたら、
職員も一市民。
京都市では職員が
地域活動や社会活動に
参加することを
推奨しています。

参加者みんなで協力した
環境にやさしい運営が
行われています。

わたしが見つけた
京都の素敵なスポットを
SNS や動画で発信
してみるのも面白そう

たくさんの文化的・歴史的な
スポットを観光する方を
案内しているのも市民の力。
タクシーの運転士による案内、
大学生の観光ボランティア、
みんなで作る観光マップ
などなど。

住みたいまちの
未来像や課題は、
みんなで共有
することが重要。

宵山を楽しんだ後は、
ごみゼロに
挑戦してみよう。

平安時代から 1000 年以上
続く祇園祭は
「市民力」の総本山。
町衆により守り継がれる山鉾。

あなたは
オンライン派？
リアル派？
どちらも派？

忙しい人や、移動しにくい人は
オンラインの対話の場も。
申し込みも参加も自宅からでも OK、
会社からでも OK、
海外からでも OK。

京都市職員と
一言言っても、
色々なことやっている
ひとがいます。

職場を超えて
活躍する職員、
改革に挑戦する職員と
市長が意見交換。

どんな場所だったら
行きやすいだろう？

対話の場所は役所には限らない？
会社やお店、学校、地域の会館、
お寺で開かれていることも。

地域に住んでいる人だけでなく、
通っている人や、時には
市役所の人も参加します。

市民と職員の課題解決の
ワークショップから
生まれたアイデアで、
実現したのもも。

まずは興味あるテーマの
ワークショップや
イベントをのぞいてみよう。

実はワークショップ運営のスキルを
持った職員がいる京都市。
色々な場で市民と混じって対話しています。

地域では、
オンライン会議ツールの
使い方教室も
開かれたりしています。

まちをきれいにしながら、
近所の人とも
コミュニケーション。

自分の住んでいる
自治会や町内会では
どんなイベントを
やっているんだろう？

京都市には
業務を超えた
課題解決の職員チームや
自主研究グループが
たくさんあります。

市役所や区役所は
地域のことの相談窓口。
地域団体の入り方、
運営の仕方、いつでも
気軽に相談できます。

京都市が目指す未来像の実現に向けて、令和 3(2021) 年度から令和 7(2025)
年度までの 5 年間で、どのようにみんなて京都をつくっていくかをまとめた計画
が、「第 3 期京都市市民参加推進計画」です。

これからの 5 年間で、京都市はどんなことを大事にしながら、どのように取り組
みを進めていくのか、具体的に知りたい人は、ぜひ「第 3 期京都市市民参加推進計
画」も読んでみてください！

市政参加やまちづくり活動に関する最新
情報が集まっているのが、「みんなてつ
くる京都」ポータルサイトです。
このハンドブックを読んで、自分の意
見を共有したり、何か行動してみたく
なったら、ぜひアクセス！

近くに困っている人いない？
もしかしたら
力になれるかも？

京都は昔から、
地域をよくするために
自主的に動く人たちが
たくさんいます。

後所の人だけでなく、
地域の人が一暮らしの
お年寄りや、困っている
人をサポート
している場合も。

わたしが見つけた
京都の素敵なスポットを
SNS や動画で発信
してみるのも面白そう

あなたは
オンライン派？
リアル派？
どっちも派？

自分の住んでいる
自治会や町内会では
どんなイベントを
やっているんだろう？

家の掃除のとき、
一歩門の外に
踏み出してみよう。

まちをきれいに
しながら、
近所の人とも
コミュニケーション。

掃き門前は、京都の誇る
まちづくり文化。
家の門の前から
少し周りまで掃除する
思いやりの文化です。

こども達も
張り切って
まちを見回り。
防災に取り組む
大学生の姿も…

京都のまちを気を付けて見てみると、
街角のバケツや火処要慎のお札、
市民のまちを守る知恵があちこちに。

住みたいまちの
未来像や課題は、
みんなで共有
することが重要。

たくさんの文化的・歴史的な
スポットを観光する方を
案内しているのも市民の力。
タクシーの運転士による案内、
大学生の観光ボランティア、
みんなでつくる観光マップ
などなど。

どんな場所だったら
行きやすいだろう？

住みたいまちの
未来像や課題は、
みんなで共有
することが重要。

京都市職員と
一言で言っても、
色々なことやっている
ひとがいます。

京都市には
業務を超えた
課題解決の職員チームや
自主研究グループが
たくさんあります。

職場を超えて
活躍する職員、
改革に挑戦する職員と
市長が意見交換。

市役所や区役所は
地域のことの相談窓口。
地域団体の入り方、
運営の仕方、いつでも
気軽に相談できます。

地域では、
オンライン会議ツールの
使い方教室も
開かれたりしています。

忙しい人や、
移動しにくい人は
オンラインの対話の場も。

申し込みも参加も
自宅からでも OK、
会社からでも OK、
海外からでも OK。

まちをきれいにしながら、
近所の人とも
コミュニケーション。

古いまち並みを
守るため、
大事な地域の
火の用心。

あなただったら
どんなテーマに
興味がある？

より良いまちにするために、
京都市に意見する制度
「パブリック・コメント」
があります。

難しい課題や政策については、
京都市の職員が説明に来て、
質問に答えてくれます。

対話型の
パブリック・コメントは、
中学校や高校、大学の授業でも
実施されています。

あなたの知り合いの
京都市職員と
まちのこと話してみる？

仕事を離れたら、
職員も一市民。
京都市では職員が
地域活動や社会活動に
参加することを
推奨しています。

参加者みんなで協力した
環境にやさしい運営が
行われています。

宵山を楽しんだ後は、
ごみゼロに
挑戦してみよう。

平安時代から
1000年以上
続く祇園祭は
「市民力」の総本山。
町衆により
守り継がれる山鉾。

市民と職員の課題解決の
ワークショップから
生まれたアイデアで、
実現したのものも。



あなたのまちでも
やっているかも？
みんなでつくる
京都 HP をチェック！

アンケートに答えると
プレゼントがある場合も？

市役所や区役所では、
様々なまちの課題や
未来について
対話の場があります。
色々な年齢の方、
お勤めの方、学生、
誰でも参加できます。

参加しやすい意見を
伝える手段、
アンケート。
散歩のついでに、
ネットサーフィン
のついでに。

対話の場所は役所には限らない？
会社やお店、学校、地域の会館、
お寺で開かれていることも。
地域に住んでいる人だけでなく、
通っている人や、時には
市役所の人も参加します。

実はワークショップ
運営のスキルを持った
職員がいる京都市。
色々な場で市民と混じって
対話しています。

まずは興味あるテーマの
ワークショップや
イベントをのぞいてみよう。

京都市が目指す未来像の実現に向けて、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間で、どのようにみんなで京都をつくっていくかをまとめた計画が、「第3期京都市市民参加推進計画」です。

これからの5年間で、京都市はどんなことを大事にしながら、どのように取り組みを進めていくのか、具体的に知りたい人は、ぜひ「第3期京都市市民参加推進計画」も読んでみてください！

市政参加やまちづくり活動に関する最新情報が集まっているのが、「みんなでつくる京都」ポータルサイトです。

このハンドブックを読んで、自分の意見を共有したり、何か行動してみたくなったら、ぜひアクセス！